

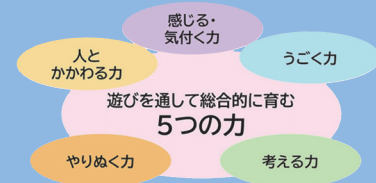
《幼児版》

「遊び 学び 育つひろしまっ子！」育みシート

広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター

このシートは、今、目の前にいる子供にどのような力が育まれようとしているのかを、子供の姿をもとに見取り、それによって、保育内容や環境構成をより良くするためにはどうすればよいのか、保育者同士が話し合い、子供理解を深めるためのものです。

月齢や年齢はあくまでも目安であり、一人一人の発達の状況はそれぞれ違っていること、その子らしさを認めようとすることに留意する必要があります。



要領・指針における「乳幼児期に育みたい資質・能力」と、広島県の「5つの力」の方向性は同じであり、遊びを通して総合的に育まれるものです。

	3歳児	4歳児	5歳児	小学校以降
発達の 特徴	様々なことに挑戦するが、「自立」と「依存」が行きつ戻りつする	人に対する興味や親しみが増え、自分中心の主張をしながらも周りの人と関わっていく	互いの良さや特性に気付き、人間関係が広がるとともに、深まっていく	自覚的な学び
関わりの ポイント	挑戦しようとしていることを見守り、「やってみたい」という思いを支える	一人一人の感情や思いを受け止め、他者との思いの違いや多様性に気付けるような援助をする	協同的な活動や人との関わりを通して、一人では味わえない経験を大切にする	主体的・対話的で深い学び
生活習慣が少しずつ自立してくる	・衣服の着脱、食事、排泄など、自分でやってみようとし、できた時は保育者に見てもらい、喜ぶ	基本的な生活習慣が身に付いてくる ・園生活の流れを理解し、自分のことができるようになってくる	自発的に行動する ・生活や1日の流れに見通しをもち、身の回りのことを進んで行う ・どうしたら健康、安全に過ごせるかなどに気付き、自分で行動する	《幼児期の終わりまでに育ってほしい姿》 健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
健康	全身を使って、より活発に遊ぶ ・戸外で走り回ったり、飛び跳ねたりなど、自分のやりたいことを見つけて、できたことを喜ぶ ・三輪車や固定遊具などを使った遊びを楽しむ	全身のバランスをとりながら遊ぶ ・友達や周りの人がしていることを見て、フープ、長縄、ボールなどを使った複雑な遊びに挑戦したり、一緒に楽しんだりする	バランス感覚、集中力を発揮する遊びを楽しむ ・鬼ごっこや集団遊びなど、状況に合わせて自分の体をコントロールしながら、全身を動かして遊ぶことを楽しむ	
自分ですようとする	・身近な人に見守られ、時には手伝ってもらいながら、自分でやってみようとする ・身近な人や友達がやっていることに興味をもち、やってみる	自分と他者の気持ちに気付く ・いざごや葛藤を経験する中で、保育者に自分の気持ちを受容、共感してもらうことで、様々な思いや感情があることに気付く ・集団の中で葛藤しながら、少しずつ自分の気持ちの折り合いが付くようになる	自信をもって行動し、達成感を味わう ・うまくいかないことがあっても、周りの人に励まされながら、あきらめずに満足いくまで粘り強く取り組む ・当番活動や人のためにできること、自分の長所などを周りの人に認めてもらい、喜びや達成感を味わう	
人間関係	身近な人や友達と過ごす楽しさを感じる ・嬉しい、楽しい、悲しい、悔しいなどの気持ちを身近な人に共感してもらうことで、安心する ・保育者が一緒に遊んだり、他児との関わりを広げたりすることで、友達や周りの人との関わりが楽しくなる	思いやり、憧れ、尊重など様々な気持ちをもつ ・仲良しの友達や小さい子が困っていること、してほしいことを考え、手伝ったり、世話をしたりする ・年長児や周りの人を見て「あんな風にしてみたい」と、憧れの気持ちをもつ ・生物や植物などの世話をする中で、命の大切さを知る	友達と共通の目的をもち、楽しさや喜びを味わう ・友達と楽しさを共有し、アイデアや思い、イメージなどを話し合いながら、考えたり、力を合わせて協力したりする ・自分たちでルールや役割分担を決め、遊びを楽しむ	
環境	生活や遊びの中にきまりがあることに気付く ・簡単なルールのある遊びを友達と楽しむ ・自分の気持ちを保育者に共感してもらうことで、友達の気持ちにも気付くようになる	生活や遊びのきまりを守ろうとする ・生活や遊びの中での困ったことや状況などを考えたり、きまりの大切さに気付いたりして、守ろうとする	相手を尊重する気持ちをもつ ・自分と他者との違いや、周りの人の好きなことや得意なことなどに気付く ・いざごや葛藤を経験する中で、自分の気持ちを伝えながら、相手の思いも聞こうとする ・相手や周りの人の思いや考えを聞き、どうしたらよいかなどを考える	
	遊びの中で道具の使い方が分かる ・スコップ、ボール、おもちゃなどの、ものの性質や仕組みなどが分かり、様々な道具や素材を使って遊ぶ ・繰り返し遊びをしながら、ものの違いに気付き、友達と面白がったり、楽しんだりする	試行錯誤してやってみようとする ・身近なものを使って、試したり工夫したりしながら、遊びを楽しむ ・「～したい」という思いをもちながら、周りの人の行動を見たり、考えを聞いたりして、試したり力を合わせたりする	行事や地域社会との関わりを楽しむ ・園外活動や行事などを通して、地域に親しみをもち、生活や遊びの中に必要な情報を取り入れたり、活用したりする ・困ったこと、不思議に思うこと、楽しかったことなど、友達と話し合いながら、社会や世界のことなどに興味や関心をもつ	
	自然に触れて遊ぶ ・身の周りの自然や環境と関わりながら、土、砂、動植物など、自然の変化や不思議さに気付く ・自然に触れ、思ったことや感じたことを周りの人と共感し、興味をもって伝え合う	生き物や自然に興味をもつ ・身近な自然に興味をもって、観察したり、触れたりする ・様々な環境や自然に変化があることに気付き、遊びや生活に取り入れる	遊びの中で試行錯誤を繰り返し、達成感を味わう ・身の周りにある道具や素材の特徴や用途を理解し、それを使って遊びを楽しむ、目的を達成しようとする ・今までの経験から、予想を立て、友達の考えに触れる中で、確かめたり、新しい考えを生み出したりする喜びを味わう	
	色、形、数量などに気付く ・色や形を考えながら、積み木、玩具などで遊ぶ ・生活や遊びの中で、色、形、数量などに興味をもち、分けたり集めたりして遊ぶ	数字や文字などに興味や関心をもつ ・生活や遊びの中で、数量を数えたり、大きさや長さ比べなどをしたりする	自然や生命を大切にする気持ちをもつ ・行事や季節の変化などを楽しむ中で、生命の尊さや自然、宇宙の不思議さなどに気付き、興味や関心をもつ ・身近な動植物の世話をしたり、成長を感じたりする中で、命を大切にしようとする	
言葉	自分の気持ちを言葉や態度で表現する楽しさを味わう ・絵本や紙芝居などの言葉からイメージを膨らませて、現実や空想の世界を楽しむ ・自分の感情や行動などを周りの人に受け止めてもらいながら、自分の思いを言葉や態度で伝える	自分の言葉で伝える喜びを感じる ・身近な人に自分が発見したことや気付いたことを伝えようとする ・なぞなぞやしりとりなど、遊びを通して、伝えたり聞いたりすることを楽しむ	生活や遊びの中で数量や図形、標識や文字などに親しむ ・ごっこ遊びなど友達と関わる場面で、見せたい、伝えたいという思いを抱いたり、必要性に気付いたりすることを通して、様々な表現を取り入れて遊ぶことを楽しむ ・遊びの中で友達とチーム分けをしたり、大きさを比べたりして数や大きさなどの感覚をもつようになる	
表現	イメージや遊びを共有して楽しむ ・身近な人と一緒に歌ったり、踊ったりして、同じ遊びや世界観を楽しむ ・様々な素材や道具、おもちゃなどを使って遊ぶものを作ったり、それを使ってなりきったりすることを楽しむ	様々な表現を楽しむ ・はさみ、テープ、クレヨン、筆など道具や素材を自由に使って表現することを楽しむ ・自分が作ったものに愛着をもって遊んだり、飾ったりする	思いや考えを表現して伝え合う ・周りの人の言葉を受け入れ、具体的に自分の考えを伝え、話し合う ・物事を自分事として捉え、興味や関心をもって人の話を聞く ・イメージを仲間と共有したり、相手の立場で考えたりしながら、言葉や歌、制作物などで表現して楽しむ	